

■ 施設ゾーン敷地の地形利用の考え方（セクションイメージ）

※各イメージ計画は、予算等により整備実施可否の調整が必要であり、すべて実現するというものではありません



● 地形利用計画の基本テーマ

- 現状地形を出来る限り利用する
（建物、駐車場ゾーンに関しては、ユニバーサル空間とする）
- 敷地全体に地域性を生かした樹種緑化計画を行う
- 施設周辺も森、林を整備し、自然豊かな空間を創造する
- 施設ゾーンと後背自然域とを調和連続させた一体的計画

● 施設ゾーン全体敷地利用イメージ計画



○公道向井地区ゾーン

- ・地域住民の安全性確保
- ・地域住民のプライバシー確保
- ・公道の環境整備
（緑化、石積み、誘導等）

○アプローチゾーン

- ・道路等は石ダミ計画
- ・高低差、自然的緑化計画
- ・森、林を抜けてセンターへ誘導

○パーキング、施設ゾーン

- ・安全性の高い駐車場計画
- ・森、林の中に駐車場や、施設を設定
- ・駐車場から施設へのアプローチシェード計画

○憩いの森ゾーン

- ・休憩東屋、W. C棟等サービス施設計画
- ・朝市等地域物産販売施設計画
- ・緑化整備は地域植生を考慮し計画